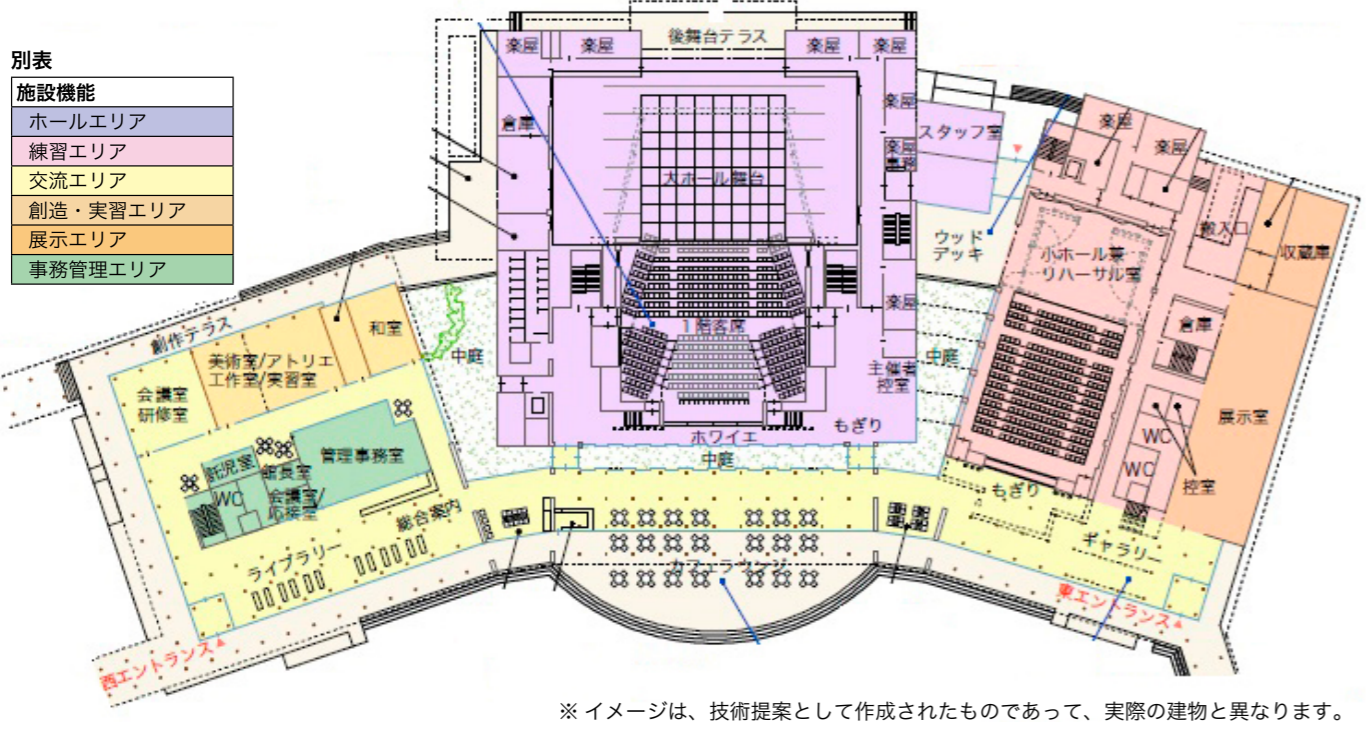


昨年12月に策定した実施計画の内容について、これまで4回にわたり、掲載してきました。今月号では、これまでの経過、その目的と施設整備の内容について、必要な経費と財源、今後の予定について説明します。

施設整備の目的とイメージ

文化は心の豊かさを生み出し、そこに住む地域の人材を育て、三好市を未来へとつなぐ大きな原動力となります。交流拠点施設は、心豊かな人づくりとまちの活性化の源となる市民の交流を促進し、地域や世代を超えた人々を結ぶ拠点となるものです。文化を核とした活動を通じて様々な交流を生み出すとともに、市民が生き活きと輝くことにより、市全体の活性化に大きく寄与します。

設計者候補として、香山・飯島・協和設計共同体が選定されました。提案イメージは下記のとおりです。また、施設に求める機能は別表のとおりです。



これまでの経過

- 平成 9年 4月 徳島県新長期計画で県西部にコンベンション整備構想が示される
- 平成 10年 8月 阿波池田商工会議所「コンベンション推進会議」設置
- 平成 18年 3月 三好市発足
- 平成 18年 10月 交流拠点施設整備計画策定委員会設置
- 平成 19年 2月 交流拠点施設整備計画策定市民委員会設置
- 平成 20年 3月 三好市総合計画策定
- 平成 21年 5月 交流拠点施設整備に関する調査研究に着手
- 平成 23年 3月 「交流拠点施設整備に関する調査研究」発行
- 平成 24年 5月 交流拠点施設整備基本計画策定
- 平成 24年 12月 交流拠点施設整備実施計画策定
- 平成 24年 12月 船井電機工場跡地寄贈
- 平成 25年 5月 交流拠点施設設計者決定
- 平成 25年 5月 交流拠点施設・国土交通省計画認定



国土交通省より都市再生整備計画の認定を受けました

交流拠点施設は、三好市中心市街地の市道や排水路、公園、防災施設とともに、都市再生整備計画として認定を受け、国の財政支援が得られることになりました。計画の概要については、下記のとおりです。

池田地区都市再生整備計画

- 【面積】 170ha
- 【計画期間】 平成 25～29年度
- 【整備目標】
 - ・災害時における支援活動スペースや避難道の整備により、災害から市民の生命と財産を守る防災拠点を整備する。
 - ・主要施設の周辺整備、交通アクセス条件を向上させ、便利で暮らしやすい生活環境を整える。
 - ・交流拠点施設の整備を図り、市民文化交流の推進を図る。
- 【主な事業】 市道上野池南線の改良、三好病院進入路の整備、市内排水路網の整備など

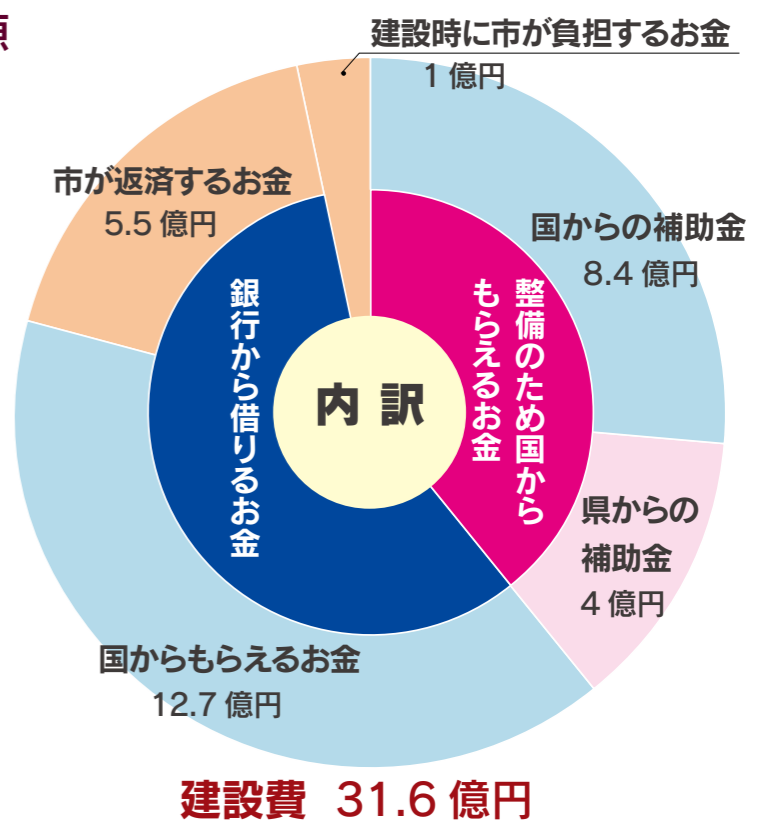
施設整備に必要な経費と財源

建設経費に対する財源は、国からの補助金および県補助金と、合併市町村に認められる合併特例債（銀行から借りるお金）を充てます。内訳は右図のとおりです。

銀行から借りるお金のうち12億7000万円は、償還に対する交付税として、返済時に国より交付を受け、残りの5億5000万円が実際に市が負担、返済する額となります。

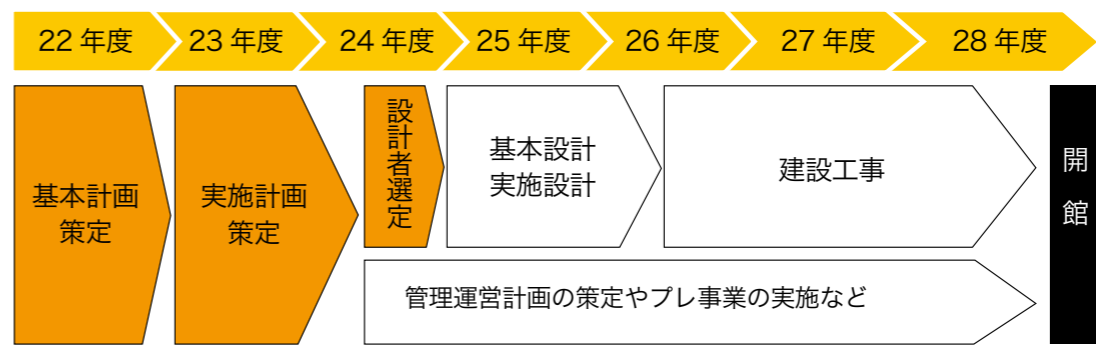
また、建設時に市が負担する額は1億円です。

※ 国土交通省以外の補助金も調整中です。
 ※ 建設費は財政計画における計画事業費です。
 ※ 銀行から借りるお金（合併特例債）の返済期間は20年で、返済の市負担額は、年2750万円の予定です。ただし、返済にかかる利子は考慮していません。



今後のスケジュール

本年度、施設の基本・実施設計を行い、市民ワークショップを開催し、施設整備の内容を決定します。平成26年度、本体工事に着手し、平成28年度の開館を目指します。また、施設整備の決定を受け管理経費を把握し、管理形態と事業計画を踏まえた管理運営計画を策定します。



お問い合わせ先
 三好市文化交流推進課
 (電話727633)